

震災危機一髪

三陸北部森林管理署久慈支署野田森林事務所

成田晃彦

Narita Akihiko

とてつもない大きな破壊力で多くの犠牲者を出した「3月11日」の平成の大津波。幸運にも玄関の上がり口まで海水が来ましたが、辛うじて被災を免れた森林事務所です。事務所前や車庫には悪臭を放つヘドロが数cm堆積し、車のタイヤ・がれき等が散乱し、正に危機一髪の状態でした。残念なことに作業班で一名の方が、家屋流失の被災をしました。

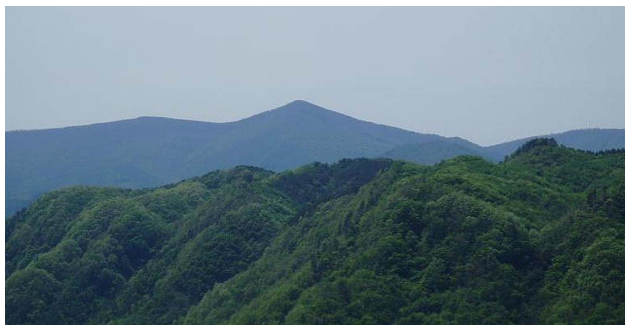
改めて、被災者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

当森林事務所は、久慈市から国道45号線を南に約12km離れた野田村の中心地にあり、北は事務所から約50km離れた青森県境で、ツツジの群生地で有名な階上岳の裾野から、東に陸中海岸国立公園を有する三陸の海岸線と西に久慈市の最高峰遠島山の麓を含んだ広範囲に国有林が所在する区域です。このようなことから、飛び地や孕在地が多く、境界総延長約300kmと境界管理の比率が非常に多い事も特色の一つです。

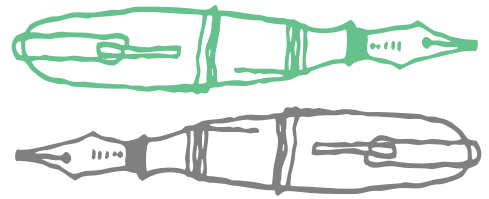
林業で久慈と言えば「南部アカマツ」です。

アカマツ林が松食い虫被害で減少する中、久慈地方では、市町村、林業関係機関及び団体による「南部アカマツ振興センター」の設立や久慈地方森林組合の「南部琥珀松」としてのブランド化など将来的に「南部アカマツの里」として、地域林業の振興に向け取り組みを行っているところです。

そのような中、管内には、久慈市を代表する侍浜松植物群落保護林7.21haが設定されています。南部アカマツの系統をくみ形質優良なため、「侍浜松」として特に有名で、特別母樹林でもあります。将来このすばらしい森が、林業発展の



1,262mの標高を誇る、久慈市の最高峰「遠島山」



森林官からの手紙

指針となればと思い管理しています。

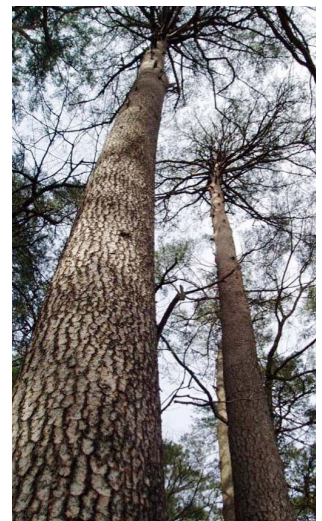
さらに、地域と密着した地域振興と深い結びつきも特色のひとつです。

当管内に薪炭共用林組合が13組合あり、現在でも10薪炭組合に薪材が供給されています。さらには、分収林が約500ha設定されています。植栽樹種は主にアカマツ・コナラです。コナラはほだ木用として、特に地域振興と深い関わりを持って貢献しています。

他方、太平洋に面した海岸線の管理ですが、当地区は特に優れた景観を有することから、「陸中海岸国立公園」に指定されているほか、魚付き保安林が約142haとなっています。まさに山村から漁村まで、地域生活と深い関わりを持った国有林です。

特に海岸線は崩壊地が多く、長きにわたり治山工事が行われ、漁港や集落の保全など、地域の安全・安心に大きな役割を果たしています。

このように、歴史的にも地域と国有林は深い関わりを持って現在に至っています。今後とも諸先輩の功績を参考にして、地域振興に貢献した国有林となるよう、地元密着型の仕事を目指したいと思います。



侍浜松植物群落保護林
(侍浜特別母樹林)



三崎山国有林(陸中三陸海岸国立公園)魚付き保安林